



伝えたかった想いをここに

大切な人へ

助産師 思春期保健相談士

後藤 敬子氏

第60回

あなたらしさに自信をもって！

どうしたら自分を好きになれる
すか？そんな電話での相談だった。

教室のザワザワしたにぎやかさが
なんとなく苦手で、外を眺めたり、
机で本を読んだりして過ごす。周囲の子と軽いあいさつや会話はするが席を立つことも仲間と連れ立って動くこともほほえない。けれど、心では「気取っているように見られたか」「何を考えてるかわからないヤツって思われたんじゃないか」と勝手に思ってしまう。同級生の冗談を冗談で返すことも出来なくてつまんねーヤツだ
と思う。それなのに人の視線や評価は気になり、今の意見は変じやなかったか、嫌われたんじゃないかとビクついてる外面と内面が違
う自分が好きになれない。こんな相談も変ですよ？と彼は不安そうに途中で確かめてきた。

他にもいろいろな話をした。ゲームセンターよりは家でゲームをす

るのが好き。外食で並んで待つのは苦手。花火大会は親戚の家で見る方が好き。お祭りは参加するより見る方がいい…など。

彼は本が好きだった。図書委員になり、時間があれば図書室に行っていた。他の人にも読んでほしい本のレイアウトなどは楽しかった。将来は大きな本棚にびっしり本が並ぶ図書館のような部屋に一日中いるのが夢だと笑い、本を話題にする彼はイキイキしていた。

誕生日で自転車を買ってもらったときは、父親と展望台まで走ったそう。父と子は言葉を交わさなかったが、二人で汗を拭きながら眺めた景色はとてきれいで気持ち良かったと教えてくれた。

彼に伝えたこと。長い電話だったけれど、ちつとも退屈じゃなかったし、嫌な気持ちにもならなかった。あなたの好みはわかりやすくていい。ちつとも変じやない。それがあなたらしさなので無理に友達と同じにしないでいい。「楽しい、美しい、苦手だ、好きだ」と感じ、あなたの言葉で表現できるのは素敵なことです。他の人と比べず、自分らしさに自信をもって過ごしてください。



日本海と大地がつくる水と命の循環

鳥海山・飛島ジオパーク

リレーコラム

図交流観光課観光戦略係

☎26-57559

第129回

自然災害伝承碑からのメッセージ ―庄内地震―

庄内地方は、江戸時代以降3回の地震に見舞われています。一つは1804(文化元年)年に発生した象潟地震ですが、それ以降も1833(天保4)年と1894(明治27)年に強い地震が発生しています。これらのうち、1894(明治27)年に発生した地震は庄内地震と呼ばれています。

庄内地震は1894(明治27)年10月22日午後5時35分ごろに発生しました。地震の規模を示すマグニチュードは7.0で、飯森山が崩壊したほか、海岸沿い(浜中)で3mほど地盤が盛り上がった、という記録が残っています。酒田町(当時)だけで3,300棟以上の家屋が全壊する大惨事になった理由の一つは火事でした。石油ランプが各家庭に普及し始めたころで、夕飯の準備をしていたところを地震が襲ったため、各所で火



▲2021(令和3)年3月に国土地理院の自然災害伝承碑に登録された「甲午震災記念碑」



一般社団法人鳥海山・飛島ジオパーク
推進協議会事務局
次長兼主任研究員
大野 希一氏